

体協だより

2008年(平成20年)11月15日

第6号

発行：(NPO 法人) 羽村市体育協会

第61回羽村市市民体育祭を開催

10月12日(日)晴天のもと富士見公園において開催しました。

開会式では並木市長をはじめとする来賓の方々の心のこもった応援メッセージをいただき、グラウンドを埋め尽くす6,000名の皆様も競技への戦闘態勢万端です。

また、今回の目玉の招待選手、岩水嘉孝選手(北京五輪3,000m障害出場)の登場には一段と大きな拍手がわき起こりました。岩水選手は2016年東京オリンピックの招致活動の一環としてみえられました。

競技開始とともに富士見公園は興奮の渦に。軽快な音楽、揺れる万国旗、そして各テントからの大声援。町内会自治会対抗種目ではその絶頂をむかえます。高水選手の1,000m競走の華麗なフォームもみせつけられ、選手や応援の皆様も大満足のうちに市民体育祭は無事に閉会となりました。

市民体育祭の一コマ
(総カリレーのバトンタッチ)



市民体育祭は羽村市体育協会の主催行事。

これもひとえに各実行委員のみなさまの御協力、ご活躍のたまものと感謝するとともに、選手、および応援の町内会自治会の皆様にも喜んでいただけたもの、と確信しております。

また反省点は次回への糧として来年もよりよい大会が開催されるよう努めてまいります。

主な結果は下記の通りでした。

(職場対抗・小・中学生リレーは最終面に掲載)

町内会・自治会対抗種目成績

□ 二人三脚

1位	間坂第一町内会	59秒14
2位	五ノ神中町内会	1分03秒92
3位	双葉富士見町内会	1分05秒92

□ むかで競走

1位	双葉町松原町内会	57秒62
2位	神明台町内会	58秒60
3位	五ノ神中町内会	1分01秒30

□ はむらラリー

1位	緑ヶ丘第一町内会	1分35秒02
2位	川崎東町内会	1分36秒48
3位	奈賀二町内会	1分38秒32

□ 市民総カリレー

1位	緑ヶ丘第一町内会	2分28秒79
2位	宮地町内会	2分30秒48
3位	美原町内会	2分33秒39

岩水嘉孝選手(中央)

(北京五輪3,000m障害出場)の超軽快な走りは観衆を魅了しました。



同時開催された2016年東京オリンピック招致活動ブースの様子

加盟団体のひろば

今回からむこう3号にわたり各加盟団体から寄せられた活動紹介を掲載してまいります。

当体育協会の各競技団体の活躍の一端をお伝えすることで、当体育協会活動へのご理解を深めていただければ、と願うしだいです。

－ 陸 上 －

現在会員数は28名。

都民大会、市町村大会、西多摩行政圏大会への出場や、青梅マラソンや羽村駅伝等の近隣のレース出場を中心に活動しています。

また東京都のジュニア育成への取り組みにも力を注ぎ、さくらづつみジュニア駅伝の主管によって、未来の国体選手の発掘へのお手伝いにも取り組んでおります。

小学生選手の走る姿にはいつも感動を与えてもらうとともに大勢の父母の皆様



の熱の入った応援にも感謝しています。

－ テ ニ ス 連 盟 －

【合 宿】

テニス連盟の年間事業の数ある中で、夏の終わりの合宿は参加を希望されている会員には待ち遠しい事業の一つです。

今年は9月6日(土)7日(日)一泊二日で越生にある『ウエルサンピア埼玉おごせ』で開催されました。参加者は22名。羽村を朝7時に出発し、到着後9時から早速若手コーチ陣の指導の下で総合練習会の始まりです。

ストロークのフォア&バック、ボレー、スマッシュ等大変動きのある練習で息を切らしながら賢明に挑戦する。(シニアクラスにはいささか厳しい練習!!)



基本の動き、考え方は、身体で覚えないとなかなか身につかないものです。どんなスポーツも日頃の練習の結果、身体で覚えた技術は無駄な動きがなくなり体力的にも充実感を実感し、正確で的確な身のこなしが出来るようになるものです。テニスでは身体の動きとラケットとボールが一体となって相手の動きを冷静にキャッチしながらゲーム運びが出来るようになるのです。

一日二日の合宿に参加してこれらのことがマスターできれば何も言うことはありません。そこが合宿の楽しいところで、二日間の練習会の成果を忘れないように、また富士見のコートで週末にゲームを楽しむことがテニス連盟会員の「テニスが出来る」という生きがいの一つかもしれません。

今回の合宿では東久留米のテニス連盟の皆さんと一緒に、是非親睦の交流試合をしたいという申し出を受け、男子ダブルス4試合、女子ダブルス2試合、ミックスダブルス2試合、計8試合を消化し、男子3:1、女子1:1、ミックス1:1と5:3の成績で日頃の練習の成果にまず一安心でした。

また来年の合宿も楽しく出来ることでしょう。



－ 空 手 道 －

1. 団体の活動状況

当連盟は、スポーツセンター(水・土)・羽村一中(火・木)・松林小学校(月・火・水)で活動しています。約170名の会員が所属しており、全国(一般・高校・中学・小学生)大会や東京都大会での上位入賞等、優秀な選手を多数輩出しています。又、今年の全国少年少女大会には我が連盟より東京都の代表選手として「7名」が選ばれ、8月の大会を目指して頑張っております。

特に、ジュニア育成にも力を入れ、指導方針としても、チャンピオンを志す者、又は、体力や精神力の増強を目指す者等、各自の目標に合った方法で指導を心掛けております。

各練習場ではどなた

でも気楽に体験が出来ますので、一度見学に来て見て、楽しく武道を身に付けてみて



は如何ですか。

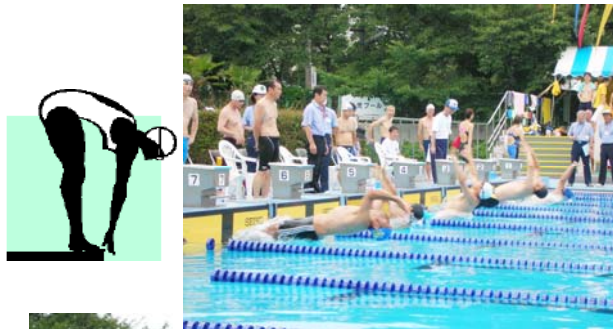
☆大会記録（団体戦・個人戦）

- ①都民大会「団体戦」第3位
- ②東京都市町村大会「団体戦」優勝
- ③全国中学生大会「個人戦」第5位

－ 水 泳 －

水泳協会では競技／普及／運営を3本柱に活動していますが、競技のメインである市町村大会と運営のメインである市民水泳大会が続き、関係者はあわただしい時期を過ごしました。

■市町村大会：7/27に武蔵野市で開催され10人が参加。猛暑の中しかも屋外プールでの大会でしたが200mリレーで2位となるなど参加者全員満足の行く成績をあげました。



■市民水泳大会：8/3にスイミングセンターで開催。近年は小学生の参加が増え、延べ参加者数がH15年までは250人程度だったものがH18年450人、今年度は550人と増加。2時間もあれば全競技終了していたものが年々延びており、小学生はお昼には終了するようにとレース順序を配慮していますが記録整理／賞状作成が間に合わないという嬉しい悲鳴があがる状態。来年はさらに多くの参加者でも大会をスムーズに行うべく改善したいと思います。

9月以降は火・金曜日の定期練習、水泳指導等の普及活動を中心にした活動が続きますが

これらの活動に対してスイミングセンターをはじめ関係各位のご協力に感謝申し上げます。

－ ゲ ー ト ボ ー ル －

『仲間づくりで減少化に歯止めを』

私達の羽村市は協会発足当時15倶楽部で会員数も360名が登録され、各種大会が開催されるたびに会場は活気で溢れ、明るい笑い声で一杯でした。

しかし、今は倶楽部数も半減し会員数も1/3に減少しました。

ゲートボールの楽しさを覚える前に新しいフィールドゴルフの楽しさを見つけられた方々は、個人プレーを好むようです。

それでもゲートボールの楽しさを実感された方々は、今夏の猛暑に負けずに頑張り練習に励んでおります。

会員の高齢化と共に、減少が進む中、どうしたら新しい仲間が入会するか、PR不足か、それともゲーム自体に興味がないのか、いつも心を痛めているこの頃です。

猛暑続きの日も仲間の健康を気遣い、冷茶等を用意し休憩時には、『人生を有意義』にと話し合い仲間との連携を取りながら楽しく練習をすることにしております。

会員の親睦を目的として一泊で他県に出かけての交流試合、倶楽部の方々と一緒にチームを編成し、二日間を楽しく過ごす仲間づくりと、今年で三回目となり現在準備中です。

これが一人でも多くの新入会員の増加に結びつけばと願っております。



<指導広報部からお知らせ>

今回のご紹介は紙面の都合上5団体にとどまりましたが、次号以下で全加盟団体の記事を紹介してまいりますのでぜひご期待ください。また、興味ある競技がありましたら下記ホームページにも紹介されておりますので、ぜひこちらものぞいてみて下さい。

(特非) 羽村市体育協会 ホームページ
<http://www.hamura-taikyo.npo-jp.net/>

東京都市町村体育協会連合会から 功労表彰

本年度は当体育協会から以下の2名の方が受賞されました。お喜びするとともに長年にわたるご活躍にあらためて感謝申し上げます。

□ 特別功労表彰

大野元雄氏

(当体育協会前会長)



当協会会長および東京都市町村体育協会理事を歴任され、会の発展に寄与された功績が認められ表彰されました。

□ 功労表彰

井上克巳氏

(羽村市陸上競技クラブ会長)



羽村市総合体育大会(陸上競技、ジュニア駅伝)、羽村市市民体育祭の審判長として、長年にわたるジュニア育成をはじめとするスポーツの普及、推進に尽力された功績が認められました。

ジュニア育成事業

『指導者合宿研修』を開催します

「ジュニアスポーツのネットワークの構築・活用事業」の一環として来たる11月29日(土)、30日(日)に羽村市清里自然休暇村において、「ジュニア育成ネットワークの構築・活用」を主題とした指導者合宿研修を開催いたします。

当日は大学の専門講師を招き講義を受けた後、ジュニア育成事業に参画する8団体を中心に当体育協会本部6役および各加盟団体が、各分科会に分かれ討議、報告発表を実施し、ジュニア育成への取り組みへのあるべき姿をあらためて確認し、関係者間の連携をより高めていく所存です。

詳細は次号にて詳しくお知らせいたします。

職場対抗、小・中学校リレー成績

□ 職場対抗100m×4

1位	松林小学校チーム	55秒52
2位	栄小学校Aチーム	56秒40
3位	協進印刷福生工場A	58秒35

□ 小学校100m×8

1位	富士見小学校	1分59秒00
2位	羽村西小学校	2分02秒69
3位	武蔵野小学校	2分03秒37

□ 中学校男子100m×4

1位	羽村第一中学校A	51秒43
2位	羽村第一中学校B	53秒57
3位	羽村第二中学校B	53秒86

□ 中学校女子100m×4

1位	羽村第一中学校A	大会新 55秒86
2位	羽村第三中学校A	58秒62
3位	羽村第一中学校B	1分01秒21



子供達に気軽にサインに
応じるオリンピックの
岩水嘉孝選手



市民体育祭でのオリンピック岩水嘉孝選手の走りは圧巻でした。

鍛え抜かれた強靱な体、特に足の細さにはあ然。2本走った1,000m走。1本目はゆとりの4分ペースで軽々と。そして2本目に見せてくれた2分45秒の軽快な走りはさすがオリンピック。

ともに走った選手の皆さんには良き体験に、そして観衆の皆さんにも超一流の走りを間近に見られた感動を与えてもらうことができたことと思います。

“体協だより”も岩水選手のようにフットワークをもって皆様に最新の情報を提供できるよう努めてまいります。

また、NPO法人羽村市体育協会へのご支援、御協力をあらためてよろしくお願い申し上げます。

(記:指導広報部長 市山雄三)

体協だより 第6号

発行: 特定非営利活動法人 羽村市体育協会
羽村市羽加美1-29-5
電話 042-555-1698
発行日: 平成20年11月1日
編集: 体育協会 指導・広報部